

(公社) 日本地すべり学会関東支部 令和元年度第1回現地検討会 開催報告 ー山梨県御勅使川の砂防・治水の歴史ー

1. 実施概要

本年度は、第1回現地検討会として、山梨県のご協力を得て、「御勅使川の砂防・治水の歴史」をテーマとした現地検討会を実施しました。

南アルプスから甲府盆地に流れ込む御勅使川（みだいがわ）は、扇状地から釜無川本流にかけて、武田信玄によるとされる「信玄堤」をはじめとする伝統的な治水施設が現存しております。また、御勅使川中流には、初めてコンクリートを用いた砂防堰堤とされる「芦安堰堤」をはじめとして、歴史的な砂防施設が設置されています。現地検討会では、これらの施設を視察し、御勅使川の治水・砂防の歴史を学びましたので、報告します。

- (1) 開催日：令和元年7月9日（火）
- (2) 開催場所：山梨県南アルプス市
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：南アルプス市教育委員会文化財課、山梨県県土整備部砂防課
- (5) 参加人数：25名

2. 現地検討会の内容

現地検討箇所の概要

- (1) 南アルプス市ふるさと文化伝承館・信玄堤等の見学
- (2) 芦安堰堤等の現地見学

検討会ではまず、甲府駅から信玄堤に移動し、信玄堤の歴史的価値に触れた。次に、伝承館にて、南アルプス市様から御勅使川の砂防・治水の歴史について概要の説明をいただいた。

さらにバスにて移動して、御勅使川中流にある、初めてコンクリートを用いた砂防堰堤とされる「芦安堰堤」をはじめとした、歴史的な砂防施設の視察を行った。

本検討会では、歴史ある砂防施設等を視察することができ、非常に有意義な機会となりました。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した現地検討会や学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定です。

最後に、本現地検討会の開催にあたり、御協力頂いた南アルプス市教育委員会文化財課、山梨県県土整備部砂防課の関係者各位には大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。



写真-1 南アルプス市教育委員会文化財課による現地説明（信玄堤前にて）



写真-2 集合写真(石積出の上にて)

(関東支部幹事会 樽角晃)





